

【事業の実施方針】

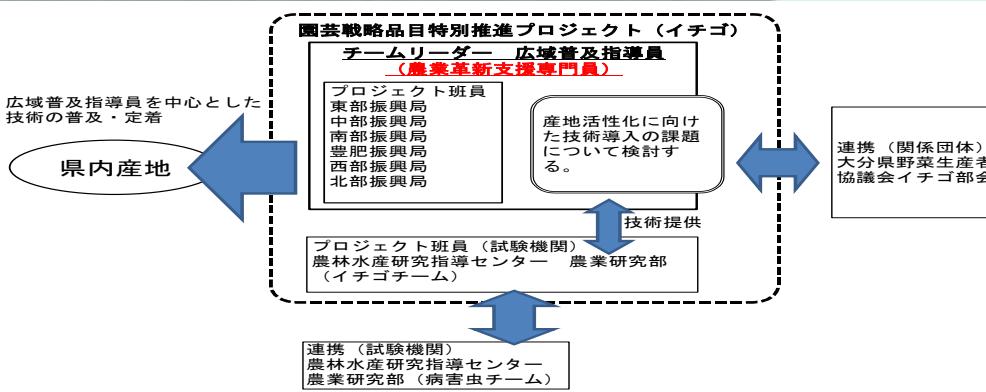
単収向上のため、炭そ病に効果のある薬剤ローテーションを組み入れた立枯れ性病害マニュアルを作成し県内産地への普及・定着を図る。また、開発された出荷予測技術を導入・検証して圃場調査・栽培管理指導を行い、厳寒期におけるイチゴ果実の成熟日数の適正化を図り、県内産地へ普及・定着を促進する。

新技術の内容

炭そ病に効果のある薬剤ローテーションの導入により健苗の確保を図る。(2010年に大分県農林水産研究指導センターで開発)

さがほのかの開花時期から成熟日数を予測し、厳寒期の成熟日数を適正化する技術である。(2009年に大分県農林水産研究指導センターで開発)

実施体制図(研究・行政等との連携、役割分担等)



24年度事業の取組内容

【イチゴプロジェクト班会議(6回)】

農業革新支援専門員がチームリーダーとなり、プロジェクト活動内容の検討、マニュアルの改訂等を行った。

【雨よけベンチ育苗展示圃設置(6振興局 11ヶ所)(7月)】

主な生産部会を対象に雨よけベンチ育苗展示圃を設置した。

【育苗時栽培管理指導巡回(7~9月)】

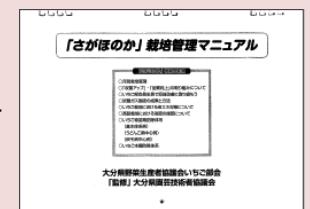
主に立ち枯れ性病害対策のため巡回指導を行った。

【成熟日数調査圃設置(5振興局 6ヶ所)(10月)】

出荷予測技術の検証を兼ねて開花から収穫までの日数調査を行った。

【本圃栽培管理巡回指導(9~3月)】

主に厳寒期の展葉速度が落ちないよう巡回指導を行った。



【成果目標及び達成状況】

(H25.3月末)

	基準年 (H23)	実績 (H24)	目標 (H28)
立ち枯れ性病害技術の導入農家	60戸	60戸	280戸
出荷予測技術を導入した農家数	10戸	6戸	70戸

技術実証の成績等 (H24)

・雨よけベンチ育苗は立ち枯れ性病害対策に有効であることが認められた。また、炭そ病に効果のある薬剤ローテーションを組み入れた栽培マニュアルを作成し立ち枯れ性病害対策を徹底した。

・出荷予測技術の検証を兼ねて成熟日数調査を行った。技術は概ね妥当性があった。しかし、地域の差による日照時間の相違などによって、地域差が見られた。

技術実証及び技術普及における課題 (H24)

・立ち枯れ性病害対策にはベンチ育苗は必須であると思われるが、雨よけについては無被覆でも立ち枯れ性病害が蔓延していない事例や雨よけによって苗が徒長する事例も見受けられるため、雨よけ期間や資材の検討が必要である。

・出荷予測技術は大方の出荷動向をつかむのには有効と思われるが、流通面で必要とされる情報を提供するような精度ではないので、農林水産研究指導センターのイチゴチームと連携して精度を高めていく必要がある。

次年度に向けた課題への対応方策

・雨よけベンチ育苗は、立ち枯れ性病害対策の基本である引き続き展示圃を設けて現地への普及を図るとともに、マニュアル（県独自）に基づいた防除対策を徹底する。

一方で、立ち枯れ性病害をあまり発生させない事例調査を行い、雨よけ期間や資材の検討を行う。

・年次間差を見るため引き続き成熟日数調査を行う。また、農林水産研究指導センターイチゴチームが新規課題で出荷予測技術の向上に取り組むので、連携してよりよい技術普及を図る。

	開花日	12月21日	12月28日	1月5日	1月18日	1月24日	2月2日	2月10日
杵築市	収穫日(平均)	1月30日	2月6日	2月15日	2月28日	3月5日	3月13日	3月21日
	収穫までの日数	40.6	40.7	41.3	41.4	41.1	40	39.2
	収穫までの積算温度	521.9	531.5	556.2	574.1	570.3	571	568.5
大分市	開花日	—	12月26日	1月4日	1月18日	1月24日	2月2日	2月8日
	収穫日(平均)	—	2月4日	2月14日	3月2日	3月10日	3月19日	3月24日
	収穫までの日数	—	40.3	41.8	44.3	46.9	46.2	45.2
	収穫までの積算温度	—	527.9	532.3	562.6	591.6	595.8	587.6
宇佐市	開花日	12月22日	12月28日	1月12日	1月18日	1月24日	2月2日	2月10日
	収穫日(平均)	2月9日	2月11日	2月24日	3月1日	3月7日	3月11日	3月19日
	収穫までの日数	49.1	45.3	43	43.1	43	38.8	38.7
	収穫までの積算温度	657.2	604.3	587.6	597.5	583.8	534.6	550.1
佐伯市	開花日	12月22日	—	1月13日	—	1月27日	—	2月9日
	収穫日(平均)	2月19日	—	2月21日	—	3月7日	—	3月18日
	収穫までの日数	59.8	—	39.8	—	40.2	—	38
	収穫までの積算温度	690.5	—	470.1	—	511.9	—	499.1